



小名浜港へ向かい、環状線の通称眼鏡トンネルを抜

けると目前に見えたのは、小名浜の漁業隆盛の一端を

変わりゆく小名浜 ⑥ 旧魚市場跡に想う



発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成27年12月20日

担った魚市場の建物でした。この魚市場は昭和41年7月1日に、生鮮食品等取引の適正化と流通の円滑化を図り、市民生活の安定に資することを目的に供用が開始された施設ですが、大震災からの復興途上でその役割を新魚市場に譲り、建物はその役割を終え、ついにその姿が消えたことに皆さんはお気づきでしょうか。

平になつたその場所から先の方には、東港へ伸びゆく橋の橋梁間が間もなくつながろうとしている状況や、遠くには魚市場の影で見えなかつた茨城の山々をはつきりと望むことができます。小名浜に生活の拠点を置く多くの方の原風景の1つとして記憶している建物や風景が大きく変わろうとしています。周囲の変化に敏感になり将来の小名浜のあるべき姿を創るために、その変化の工程に参加するようにはしてみたいかががでしょうか。

▲港が丘団地より魚市場のあった場所を望む

11月全体会議

11月26日(木)まちづくりステーションにおいて全体会議が開催されました。今回の内容は、いわき市が目指す長期計画、新しいわき市総合計画「ふるさと・いわき21プラン」の内容を、いわき市行政経営部行政経営課主査の早川憲明氏、猪狩僚氏をお招きし内容を説明して頂きました。その後、各委員会に分かれてワークショップを行いその計画を受けて市民としての立場からの意見交換を行いました。大震災から間もなく5年という月日が経過しようとしています。震災の後遺症と人口減という課題を持つ地方のまちとして今後の進むべき方向性について参加者全員が真剣な意見交換をしていました。この会議の

中で出された意見は、これからのいわき市の運営に生かす方向で検討していくことになりそうです。

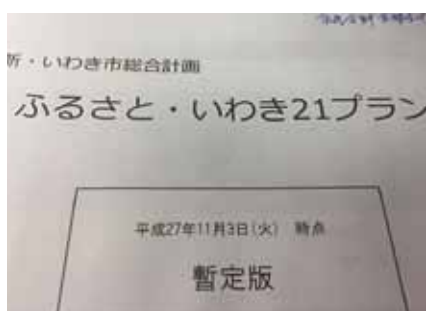
おなほまガイドマップ刷新

来年3月発刊予定

それらの活動に加え、本年度は、過去2回版を重ねた小名浜ガイドブックの再編集を行います。自分たちが住むまちをもっと知り、誇りに思い、そして訪れた人たちに説明、紹介できるようにガイドブックを作成したいと計画しています。完成は28年3月を予定し委員会メンバーで編集会議



過去2回発刊された小名浜ガイドマップ気になる情報が満載です



小名浜字事始め

「水産試験場」

県立水産試験場は、現在小名浜下神白（三崎公園への坂の途中）にあり、東日本大震災以降、福島の水産業の復活のために、水産・魚介類のモニタリングをしています。試験場は、明治35年（1902）、小名川河口の小名浜古湊（現在・野崎荘辺り）に開所しました。測候所も併設。県内の漁業を発展させるために、漁撈・水産加工の製造・養殖の事業を進め、鯉節の品質改善、鯉漁船動力化に伴う試験船による機関士養成や漁法試験（漁場開拓）などを行いました。その中でも、かまぼこ製造試験はいわき地区がその後の板かまぼこ生産量日本一となる基礎をつくりました。また各種の漁法試験は船大工の養成にも大いに役割を果たしました。その歴史を思う時、今、話題になり始めた「常磐もの」の発展に、水産試験場の存在は、大きなものを感じます。



当時の水産試験場付近の風景

行く年、来る年を 浄光院で迎える



小名浜の大晦日の風物詩「除夜の鐘」を紹介しします。富ヶ浦公園入口の高台にある浄光院は、嘉吉5年（1443年）に岩城一円を支配していた岩城親隆公が開基となり十一面観音を安置したと伝えられる真言宗の古刹です。



浄光院の鐘は、1748年に鑄造され、有形文化財

に指定されています。

江戸時代には、内藤露沾によって小名浜八景の一つ「虎山晚鐘」に撰ばれています。

毎朝6時に撞かれる明けの鐘は、270年間絶やすことなく今日に続いています。

大晦日の除夜の鐘は、一般の人たちにも開放し、一年の汚れを払い、新年を迎える福の鐘として、親しまれています。

午前零時を過ぎ新年を迎えると「福の鐘」として希望の参拝者は鐘を撞くことができます。受験生は、高校合格の開運の鐘として願いを込めて訪れています。

大晦日午後10時30分からは、小名浜東部会の皆様により、年越しそば、甘酒、



清酒の無料ご接待や、お年玉福券（108名限定）の催事もあり、例年以上の賑わいになるでしょう。ぜひ一度ご参拝してはいかがでしょうか。

スタクラ

満腹ツアー



小名浜スタンプクラブ恒例の「秋の満腹ツアー」が11月29日（日）に行われました。毎年恒例の企画で、今回で7回目になります。小名浜スタンプクラブ加盟店でお買い物をして、万冊台紙を8冊ためると参加できます。今回の企画は東京バスツアーで、品川プリンスホテルのランチブッフェで美味しい昼食、お腹がいっぱいになったところで、東京スカイツリーから都内を一望。当日は天気も良く、参加した皆さんはスカイツリーからの眺望を楽しんで



▲満腹ツアーだけに食べごたえの料理が並び

いました。帰りのバスの中では、クイズ形式のゲームをしたりと1日中楽しく過ごしました。今からスタンプを貯めて「また来年も参加したい」というお客様が多数いらっしゃったこともあり、スタンプクラブでも参加者に楽しんで頂けるよう、来年の企画を練り始まります。

めむからの囁き



間もなく羊年から、申年へ時のバトンが渡されていきます。

何でも、干支にちなみ、申年が故に赤いものに想いを託して赤い衣料関連品が良く売れているようです。一年の始まりと締めくくりに、皆さんの目に見える周囲の様子は、前を向いて変化を遂げた1年でしたでしょうか。

年の初めに立てた志を振り、新しい年への志を

確認していききたいものです。

小名浜まちづくり市民会議もまちの活性化に向けた活動を少しずつ進めて参りましたが、新年に向かい、真っ赤に燃えるような初日の出に、まちづくり活動に對する新たな誓いを立てて新年を迎えたいと思います。

来る平成28年が皆様にとりましてより良い年になるようにご祈念申し上げます。よい年をお迎えください。1年間ご愛読ありがとうございました。（記F・O）

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 してね！

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは： いわき市小名浜字本町11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。